

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成27年1月29日 (木)

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	下関市梅花園	種 別	救護施設
代表者氏名	園長 阿座上 晴章	開設年月日	昭和61年3月27日
設 置 者	社会福祉法人 下関市社会福祉事業団	定員(利用人数)	60人(55人)
所 在 地	759-6534 下関市大字永田郷459-4		
電 話 番 号	083-286-2231	FAX番号	083-286-4319
ホームページアドレス	<a href="http://www.shimo-jigyodan.jp/publics/index/10/">http://www.shimo-jigyodan.jp/publics/index/10/</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

本部体制の変更に伴い施設管理から法人経営と経営戦略を転換され、その一環として今回第三者評価を受審されたことは改革への積極的な第一歩と高く評価します。また、事前に提出された自己評価票では、率直に自己評価をされている印象があり、たいへん好感が持てます。

利用者支援に関しては、職員は与えられた使命に真摯に取り組んでおられます。限られた環境の下、職員の働きやすい職場環境づくりに努め、避難訓練など利用者の安全管理・日常生活支援が多職種連携・協働の下、適切に実施されています。また、地域の清掃活動を行うなどして、利用者との関わりを大切にされていることは、利用者の生活に気持ちの張りや充実感をもたらしているものと評価します。

#### ◇改善を求められる点

建物の改修・改善が大きな課題です。利用者の住環境の整備が急がれます。

人材の確保・養成では、組織が求める人材のあるべき姿を明確に示し、一人一人の職員についての具体的な教育・研修計画を策定し、それを計画的に実践されることが施設の将来にとって重要かと思われます。管理者の、施設整備に関する、そして人材育成に関する、施設の将来を見通したリーダーシップの発揮を期待します。

自分たちの抱えている問題点や取り組むべき課題についてよく承知していると思われますので、今後はそれらの課題への組織としての積極的な取組、評価、見直しの実践を期待します。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

設置30年目を迎える節目として、今回初めて受審させていただきました。

利用者にとってより良い環境づくりを目指しておりますが、建物の老朽化からハード面で様々な用途制限されているのが現状です。今回、自己評価以上の高評価を頂けたということで、報われたと感じるとともに、さらなる努力を心に期するところであります。

課題については、ひとつひとつ丁寧に説明していただけたこともあり、改善への糸口を発見することができました。しっかりと検証して、利用者がよりよい生活を送ることができるよう改善に取り組んでまいります。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	5	b	5	c	2	Na
<p>理念や基本方針は明文化されています。しかし、それは職員や利用者・家族などの周知されていることが重要です。今後はそれらの分かりやすい説明を心掛け、あらゆる機会を通じて職員・利用者等への周知を徹底していくことが必要です。それは事業計画に関しても同様です。</p> <p>管理者は自身の役割と責任を十分理解し、職員に対し表明しています。今後は福祉の質の向上や経営や業務の効率化や改善といった取組へのリーダーシップの発揮を期待します。</p>							

II 組織の運営管理	a	7	b	8	c	7	Na
<p>組織としての求める人材を具体的に示し、職員の教育・研修に関する基本姿勢に基づいた職員一人一人の資質向上につながる教育・研修計画の策定が望まれます。そうした計画の実施、評価、見直しを行う人材育成のための体制を構築し、実践されることを期待します。</p> <p>実習生の受け入れについては積極的です。今後もその育成に尽力していただきたい。利用者の安全確保への取り組みも徹底しています。</p> <p>地域との交流・連携は、施設のハード面や立地環境での制約もあり十分とはいえませんが、その中においてもよく取り組まれています。今後も利用者のためにも、開かれた施設への努力を継続されることが望まれます。</p> <p>なお、外部監査の導入、人事考課の導入、そして積極的な運営内容の開示は今後の検討すべき課題です。</p>							

III 適切な福祉サービスの実施	a	6	b	12	c	4	Na
<p>各種マニュアルを整備し、個別支援計画に基づいたサービスが提供されています。今後は、サービス計画策定責任者を明確にし、利用者の状況変化時に速やかに対応できるシステム確立等、PDCAが的確に機能する体制を整備されることを期待します。</p> <p>利用者満足につながる仕組みは、月2回開催される座談会・嗜好調査・レクリエーション会議・個別面談等を通じて確立しています。その中で、利用者の意見への迅速な対応、また、意向をしっかりと伝えられない利用者に対する支援などの体制及び環境作りにさらに努力していくことが望まれます。</p> <p>今回の第三者評価受審の経験を踏まえ、今後の、より一層のサービスの質の向上に向けた体制整備への組織的な取り組みを期待します。</p>							

IV 良質な個別サービスの実施	a	15	b	14	c	2	Na
<p>利用者の日常生活上の自立支援及び健康管理については、個別支援計画に基づき適切に対応しています。</p> <p>生活環境面において、特にプライバシー保護に関しては建物の老朽化もあり、十分には対応できていません。しかしながら、4人部屋という限られた面積・部屋数にあって、利用者の尊厳を保持する職員の努力は高く評価します。</p> <p>食事はおいしく、楽しく食べる工夫がなされています。今後はより快適な喫食環境の提供・改善への努力が望まれます。</p> <p>利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムを増やすなど、豊かで活力のある個別サービスの実践を期待します。</p>							